

## 抗がん剤治療中の患者さん、ご家族（介護者）の方へ 抗がん剤治療中における生活上の注意事項

抗がん剤は体に入った後しばらくの間、体の中に残り数日間かけて尿や便などの排泄物の中に排泄されます。抗がん剤は治療を受けている患者さんだけでなく、ご家族の健康に影響を及ぼす危険性があると考えられます。排泄される量はごくわずかな量ですが、できる範囲で結構ですので日常生活の中で以下に示す対策をお取りください。

### 対策をとる期間

- 抗がん剤投与当日から2日間対策をお取りください。3日目以降は特別な対策は不要です。
- 内服の抗がん剤で連日服用されている場合は、最終内服日から2日間対策をお取りください。
- フルオロウラシル・シスプラチン・エトポシドを投与されている場合は投与当日から7日間対策をお取りください。

### 日常生活の中で気を付けていただきたいこと

#### 1) 食事について

特に注意していただくことはありません。

ただし、口移しや同じ箸で小さいお子さんに食べさせることは控えましょう。

#### 2) 入浴について

入浴前にかけ湯をして体を洗ってから湯船につかりましょう。

小さいお子さんと一緒にお住まいの方は、お子さんの後に入浴するか、お子さんより先に入浴する場合は入浴後お風呂のお湯を交換しましょう。

#### 3) 洗濯について

明らかな汚れがない衣類やリネン類は、他の洗濯物と一緒に洗濯しても構いません。

尿や便、吐物等が付着した衣類やリネン類は、下洗いせず、直接洗濯機に入れ、通常の洗剤を用いて2度洗濯してください。この時、ほかの洗濯物とは分けて、尿や便、吐物等が付着した衣類やリネン類のみで洗濯するようにしてください。

通常の汗では特別な対策は必要ありませんが、解熱した時など大量の汗をかいた場合には、上記の対策をお取りいただく方が良いでしょう。

### 排泄物（尿、便）、嘔吐物の管理

可能であれば洋式便器を使用しましょう。排泄物の飛び散りを防ぐため、男性の方も便座に座って排泄しましょう。排泄後はトイレのふたを閉めて水を流し、流水と石けんで手を洗いましょう。

トイレを洗浄する水量・水圧が不十分な場合は、2回流しましょう。

### オムツやストーマ装具をお使いの方へ

- 1) ストーマ装具の取り扱いは再利用せず、一回限りの使用としてください。二品系装具の袋などを洗って再利用しないようにしましょう。
- 2) ストーマ袋内の便をカップや袋にとって処理する場合、汚物槽へ廃棄し、トイレの水は2回流しましょう。また使用したカップや袋はゴミ袋に密閉しましょう。
- 3) 排泄物に触れる際は、必ず使い捨て手袋を着用しましょう。
- 4) ごみは二重にしたビニール袋に入れ、口元をしっかりと閉じて一般ごみに廃棄しましょう。その後、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。



### 経口抗がん剤を服用されている方へ

#### 1) 管理方法

抗がん剤は確実に服用することが重要です。カレンダーやピルケースの利用、治療日記をつけるなどの工夫で薬の飲みすぎや飲み忘れを防ぎましょう。同居しているご家族が間違えて服用しないよう保管場所にご注意ください。

#### 2) 服用方法

裸錠（表面に加工のない錠剤）や粉薬など、薬の剤型によっては被曝の危険性があります。直接パッケージから口に入れるか、紙コップに移してから内服するなど、手で触らないようにしましょう。

服用後のパッケージなどは、ビニール袋に入れて封をして捨ててください。ご家族などが服用を介助する場合は、使い捨て手袋を着用しましょう。粉薬の場合はマスクの着用も併せて行うことをお勧めします。